

令和6年10月1日発行

# 南図書館ティーンズだより

—2024.秋号—

今回のテーマは「**本の本**」！

ティーンズコーナーから読書の秋にオススメの本を紹介します☆

『失われたものたちの本』 ジョン・コナリー／著 田内 志文／訳  
東京創元社

母親を病気で亡くした12歳の少年デイヴィッド。次第に幻聴や幻覚にさいなまれる彼は、聞こえるはずのない母親の声に導かれ、不思議な世界に迷い込んでしまう。そこは、おとぎ話や神話の世界の登場人物がはびこる、美しくも残酷な世界だった。デイヴィットは、元の世界に帰るために『失われたものたちの本』を探す旅に出る。



『だいじな本のみつけ方』 大崎 梢／著 光文社

ある日の放課後、野々香は学校の手洗い場で本の忘れ物を見つける。よく見ると、それはまだ発売されていないはずの最新刊で、しかも野々香のお気に入りの作家の本だった！持ち主を探すべく、図書委員の高峯秀臣らと奔走するうちに、次々と真相が明らかになっていく。次第にその本は野々香にとってだいじな本になる。一冊の本をめぐる新たな出会いや様々な想いを描いた物語です。

そのほかにもこんな本があるよ！

『ルリユール』 村山 早紀／著 ポプラ社

中学生の瑠璃が出会ったのは、本を製本するルリユール職人のクラウディア。まるで魔法のように本を直していく彼女に、瑠璃は弟子入りをすることに。

『レモンの図書室』 ジョー・コットリル／著 杉田 七重／訳 小学館

母親を亡くしたカリブソは、学校でひとり本を読んで過ごしています。ある日、転校生のメイが話しかけてきて…。巻末に本編で紹介された本のリスト付き。

『THE BOOKS green 365人の本屋さんが中高生に心から推す「この一冊」』

ミシマ社／編 ミシマ社

全国の書店員の推したい本、その数365冊が集まった本です。1ページに本の情報、キャッチコピーなどがまとまっているので、パラパラめくって気になった本を読むのもおすすめ。

## 新しく入った本

### 小説

- ・『6days 遭難者たち』 安田 夏菜／著 講談社
- ・『ひみつの相関図ノート』 望月 麻衣／他著 日本児童文芸家協会／編 ポプラ社
- ・『5分後に恋の結末 青い空の下、恋は続く。』 橘 つばさ／著 桃戸 ハル／著 Gakken
- ・『光の粒が舞いあがる』 蒼沼 洋人／著 PHP 研究所

### その他

- ・『ミュージアムと生きていく』 大澤 夏美／作 文学通信
- ・『僕たちはまだ、総理大臣のことを何も知らない。』  
長谷部 京子／著・監修 木平 木綿／構成 Gakken
- ・『フレイフレイ!就活高校生 高卒で働くことを考える』 中島 隆／著 岩波書店

### 『本と鍵の季節』

米澤 穂信／著 集英社

堀川と松倉は、図書委員会に所属している高校二年生。彼らのもとに舞い込むのは、金庫の暗証番号あて、アリバイ探し、友人が読んでいた本のタイトル探しなど、ちょっとした事件ばかり。男子高校生のコンビが、本にまつわる日常の謎を解決する連作ミステリー。



### 『本屋図鑑 だから書店員はやめられない!』

いまがわ ゆい／著 廣済堂出版

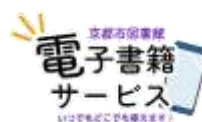
書店員ってどんなことをしているの?意外と知らない本屋さんのお仕事を、わかりやすいコミックエッセイで紹介します。書店員あるあるや、本にまつわるお役立ちコラムなど、すみずみまで本屋さんの魅力がたっぷりの1冊です。

一般書からおすすめ!  
「本の本」、まだまだあります

### 本を借りるには・・・

「図書館カード」が必要です。図書館カードは、京都市の図書館全館共通です。まだカードを持っていない人は、住所を確認できるもの(生徒手帳など)を図書館に持参して申し込んでください。

(公財)京都市生涯学習振興財団 京都市南図書館  
〒601-8011 京都市南区東九条南山王町 5-5 Tel. 691-6888  
開館時間：平日午前9時30分～午後7時  
土日祝日9時30分～午後5時  
休館日：火曜日(祝日・休日の場合はその翌平日)



スマホ・タブレットで本を読もう!  
どうやって借りる?どんな本があるの?



<https://web.d-library.jp/krotocity/>